

＜A委員からのご意見＞

これまでの審議会での議論、アンケートによる意見等が網羅され、事務局サイドとして伝えたいことが概ね記述されていると云えますので、特段の異論はありません。

なお、答申を読んだ方に、より理解を深めていただければといった点から、いくつか気になったところに関し以下に補足を記させていただきます。

● P 1 はじめに 上から 5 行目以降

「しかし、近年少子高齢化による人口減少等に伴う給水収益の減少、高度経済成長期以降に整備した施設の老朽化対策及び大規模地震等の自然災害に対応するための施設の強靱化対策等の課題が山積しており、（これらへの対応には、今後多大な費用が必要になることを鑑みると、このような収益状況では、）健全な経営を維持することが極めて困難な状況となっている。」

● P 3 1. (4) 下から 4 行目以降

「老朽化した施設の更新及び大規模地震等の自然災害に対応していくための施設の改修が必須であり、いかに必要な財源を確保し、かつ（既存施設の使用可能期間等を考慮しつつ、給水レベルも維持しながら、これを平準化して実施していくことが重要である。）」

● P 4 2. (1) 上から 1 9 行目以降

「本市の水道水の硬度の在り方について、（改善の是非を含めて、どのように取り組んでいくのか、水道利用者の合意形成を図りながら、引き続き検討していくことが求められる。）」

＜「硬度の改善に取り組むべきである。」と言い切って記述してよろしいでしょうか？＞

● P 6 2. (4) 上から 8 行目以降

「今後も給水原価が供給単価を上回り、給水収益が不足する傾向（が続くものとする）、現行の料金水準のままでは、必要な施設整備の継続的实施により、）深刻な財源不足の状況に陥ることが想定される。」

● P 6 2. (4) 上から 1 1 行目以降

「施策の検証及び審議から、本市の水道施設の老朽化、耐震化対策が遅れている現状を打開するためには、（維持管理経費はもとより、施設の更新、改良のための財源確保が急務となっていて、そのためには）財政の健全化を含めた適正な料金体系への見直しが非常に重要であり、しかも喫緊に対処すべき課題であると判断する。」

＜「供給水量の確保（企業等の大口利用者の確保）に取り組むことが非常に重要であり、」は、具体的な対策の提案が難しく、触れないほうがよいのではないのでしょうか？＞

これらは、修正を求めるものといったことではなく、私見として説明を加えてみたものですので、参考としてご確認、ご検討いただければありがたいです。

< B委員からのご意見 >

施策 2、4 に関しての取り組みについて、全体としては業務改善、効率化を進めてゆくことを大前提としつつ、将来を見据えた持続性、強靱化の為の計画的な更新が必要であり、その為には今後抜本的な財政運営の見直し（具体的には水道料金の見直し）が必要であるという内容で、同感であります。

一方、計画修繕が必要であるにもかかわらずここ数年整備が進んでいないことが明記されていますが、その原因が明示されていません。

R5 年 2 月 16 日の審議会での配布資料 1「令和 3 年度本庄市水道事業会計決算概要」の中で、「経営改善の一環として、管路の更新工事を抑制していたことにより・・・」とあり、答申の中でもその反省を明記し、その反省の上に立ち「将来を見据え、痛みを伴っても粛々と整備を進めていく必要がある」とした方が良いかと思えます。